

2025年9月5日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）  
杉戸洋展

会期：2025年12月5日（金）－2026年5月17日（日）



杉戸洋 制作中のアトリエ 作家撮影

現代の日本を代表する画家の一人である杉戸洋（1970年生まれ）は、1990年代から国内外での作品発表を続けてきました。作品に登場するのは、小さな家や船、果物、木々や雨粒といった、私たちの生きる世界の中の身近なものや自然です。こうしたモチーフが、線や幾何学的な図形とともに繊細かつリズムカルに構成され、みずみずしい色彩で描き出されます。

本展では、1990年代から最新作までの絵画を中心に、杉戸の作品を紹介します。加えて、当館のビジュアル・アイデンティティを手がけたグラフィックデザイナーの服部一成とのコラボレーションによって生まれる、煉瓦造りの建築と、杉戸作品が共鳴する空間をお楽しみください。

### 開催概要

展覧会名 | 杉戸洋展 ※展覧会のテーマとサブタイトルは2025年10月23日発表

会期 | 2025年12月5日（金）－2026年5月17日（日）

会場 | 弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市吉野町2-1）

休館日 | 火曜日（ただし4月14日・21日・28日、5月5日は開館）、12月26日（金）－1月1日（木）、5月7日（木）

観覧料 | 一般 1,500 円、大学生・専門学校生 1,000 円、高校生以下無料

主催 | 弘前れんが倉庫美術館

コラボレーター | 服部一成

展覧会ウェブサイト | <https://www.hirosaki-moca.jp/exhibitions/sugito-hiroshi/>

### 作家略歴

杉戸洋（すぎとひろし）

1970年愛知県生まれ。1992年愛知県立芸術大学美術学部日本画科卒業。現在、東京藝術大学美術学部絵画科油画教授。1990年代の活動初期から国内外で数多くの展覧会に参加。主な個展として、「FOCUS」（フォートワース現代美術館、アメリカ、2006年）、「天上の下地 prime and foundation」（宮城県美術館、仙台、2015年）、「frame and refrain」（ベルナール・ビュフェ美術館、静岡、2015年）、「こっばとあまつぶ」（豊田市美術館、愛知、2016年）、「杉戸洋 とんぼ とのりしろ」（東京都美術館、東京、2017年）の他、海外でも多数の個展を開催。「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」（吉井酒造煉瓦倉庫、弘前、2006年）に参加。平成29年度（第68回）芸術選奨、文部科学大臣賞受賞。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1